

## 祭りと楽しみ

昔の人は、みんなよく働きました。それだけに、お祭りなどの時ははめをはずして楽しみました。多くの楽しみは、農業という自然を相手とした仕事の流れの中に組み込まれていました。それだけに、移りゆく季節の変化を感じさせるものでもありました。

摂津市域に共通した楽しい年中行事としては、お正月・とんど焼き・山行き・村芝居・相撲大会・盆踊り・お月見・運動会・秋祭り・ホンコさん(報恩講)・イノコなどを挙げることができます。



藤森神社の祭り(昭和22年頃)

日が暮れて、ねり込みの行列を整えるために、堤防上に結集する



須佐之男命神社の祭り(昭和22年)

頭巾をかぶり太鼓を打つ子どもたちを乗せた屋台



鳥飼青年団主催相撲大会(戦前)

どこの村でも、相撲はさかに行われた



伊勢かぐら(昭和5年)

楽しい見せ物が続く。場所は味舌天満宮境内



ご大典（昭和天皇即位式）祝賀提灯行列  
記念写真（昭和3年）

全国で提灯行列がくり広げられた。写真は三宅村



味舌青年団主催盆踊り大会（昭和27年）

好きな人はよその村まで出かけた

別府青年団演芸会のふん装（昭和25年）

戦後しばらくは青年団の芝居が盛んだった



一津屋神崎川にて（昭和初期）

子どもはどこでも遊んだ

## 思い出語り

4月18日は「山行き」日です。学校の授業は2時間ぐらいで終わって、村じゅうで弁当やお酒を持ってジネンジ（似禅寺）山に行きます。桜かつつじが咲いていて、お花見かピクニックといったところです。

田植えがすんで蛙が鳴いている頃、芝居のふれ太鼓がチョンマゲを結うて廻ってくるとうれしいものです。

盆踊りは、めったにない世間公認の男女交流の場ですから、女の子は見違えるほどきれいにしてみました。親にしても、良い人が見つければという思いがあったと思います。

お月見には、お月さんの見える所にお団子や土芋（小芋、泥芋）を供えます。子どもがそれを竿で突いて取りにまわるのです。「団子突き」という楽しい行事です。

善勝寺のホンコさん（報恩講）は、秋祭りより露店が並んで、それは賑やかなものでした。